

中高年女性の約50%が発症すると言われる「GSM(閉経関連尿路生殖器症候群)」かつては、「萎縮性膀胱」として、“加齢による仕方がない病気”と軽視されていましたが、昨今のフェムテック・フェムケアブームが後押し、今、注目されています。

実際、女性雑誌やネットニュースなどでも多くのGSM情報を見かけるようになり、解決策を積極的に求める女性も急速に増えています。その一方で、「勇気を出して医療機関に相談したが改善しない」といった声を耳にすることも少なくありません。積極的に治療を行う医療機関が少しずつ増えているとはいえ、情報が不十分でまだまだGSM診療は過渡期であると言えるのではないのでしょうか？

今回のセミナーでは、GSMの「尿路症状」にフォーカスして開催します。排尿症状はGSMの中でも訴えの多い症状ですが、講演では、具体的な臨床例を供覧しながら、ご講演いただきます。

第2部は、GSM症例検討会！実際の臨床症例を取り上げGSMエキスパートの先生方と解決策を一緒に見出していきます。

ご講演

「ウロからみるGSM ～コツと落とし穴～」



演者 **井上 雅** 先生

(みやびウロギネクリニック 院長)

GSM(閉経関連尿路生殖器症候群)とは女性ホルモンが低下したことによりおこる様々な症状です。

具体的には、陰部の不快感、痛み、かゆみ、頻尿、尿漏れ、性交痛などの症状があげられます。患者が受診する先は婦人科や泌尿器科が多いと思われます。そして、GSMを診察するにあたって、婦人科的診察も泌尿器科的診察も必要となるため、ある程度、両方の知識が必要となることはお分かりでしょう。

私は泌尿器科専門医ですが、婦人科でも研修をうけ、現在、両方の立場から診療しております。

今回は主に泌尿器科医の立場から、とくに排尿症状を訴えるGSMをみてみようと思います。

患者が尿の症状を訴えた場合、まずは検尿が必須ですが、この検尿にも落とし穴があります。過活動膀胱、間質性膀胱炎の見分け方、泌尿器科医じゃなくてもできる治療法や、どのような場合には泌尿器専門医へ紹介するべきかなどお話ししたいと思います。

ご経歴：

平成11年6月 岡山大学附属病院、
平成12年7月 岡山中央病院泌尿器科
平成18年4月 岡山大学附属病院泌尿器科
平成19年4月 岡山労災病院泌尿器科
平成21年4月 岡山大学病院泌尿器科
平成23年4月 岡山労災病院婦人科
平成25年10月 みやびウロギネクリニック開院

所属学会：

日本泌尿器科学会
西日本泌尿器科学会
日本排尿機能学会
日本性機能学会
日本性科学会
日本東洋医学会
日本女性骨盤底医学会

日本泌尿器科学会専門医・日本泌尿器科学会指導医
漢方専門医・排尿機能学会専門医・性機能学会専門医

開催日時

2023年1月28日(土)

19:00 ~ 21:00

オンライン(無料)

セミナー参加お申込み方法はこちら

■ QRコードから



■ メールから

info@healthilia.jp

※メールにてお申込みの際は、ご施設名・お名前・メールアドレス・ご住所・お電話番号のご記入をお願いします。

第1回GSM症例検討会



関口由紀 先生
女性医療クリニック
LUNA理事長



井上雅 先生
みやびウロギネ
クリニック院長

多様な症状が混在しているGSM。
治療に苦慮している症例はありませんか？
色々な治療法を試しても、患者満足度も
なかなか改善しない・・・
なぜだろう・・・ほかにどんな手が・・・

そんな問題をアウトプットして、臨床経験豊富なファシリテーターの先生と解決してみませんか？
診療のヒントが見いだせるかもしれません。

今回は症例検討会第1回めです。これから継続して検討会を開催していきます。